

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公開番号】特開2012-54192(P2012-54192A)

【公開日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2010-197771(P2010-197771)

【国際特許分類】

H 01 B 5/14 (2006.01)

H 05 K 1/03 (2006.01)

H 05 K 3/12 (2006.01)

【F I】

H 01 B 5/14 Z

H 05 K 1/03 6 1 0 H

H 05 K 3/12 6 1 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月10日(2013.5.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) ポリウレタン分散液と導電粒子の導電性ペーストを乾燥させて形成されている配線、および

(B) 伸縮性ポリウレタン基板

を有してなる導電部材。

【請求項2】

ポリウレタン分散液は、ポリウレタンが水に分散されている水性分散液またはポリウレタンが有機溶媒に分散されている油性分散液である請求項1に記載の導電部材。

【請求項3】

ポリウレタン分散液が一液型である請求項1または2に記載の導電部材。

【請求項4】

水性ポリウレタン分散液がポリエステルポリオールと脂肪族ジイソシアネートまたは脂環族ジイソシアネートからなる自己乳化型のアニオン性ポリウレタンを水に分散させたものである請求項2に記載の導電部材。

【請求項5】

導電粒子が金属粒子である請求項1～4のいずれかに記載の導電部材。

【請求項6】

金属粒子が銀粒子である請求項5に記載の導電部材。

【請求項7】

伸縮性ポリウレタン基板がポリエステルポリオールと脂肪族ジイソシアネートからなる自己乳化型のアニオン性ポリウレタンを水分散させた水性分散液から得られたものである請求項1に記載の導電部材。

【請求項8】

伸縮性ポリウレタン基板が200%以上の伸び率を有する請求項7に記載の導電部材。

【請求項9】

配線（A）が伸縮性である請求項1～8のいずれかに記載の導電部材。

【請求項10】

(1) 水性ポリウレタン分散液と導電粒子を混合して導電性ペーストを得る工程、および  
(2) 導電性ペーストを伸縮性ポリウレタン基板に塗布し、乾燥させる工程  
を特徴とする、伸縮性配線を有する導電部材の製法。

【請求項11】

伸縮性ポリウレタン基板を伸張させた状態で塗布を行う請求項10に記載の製法。

【請求項12】

ポリエステルポリオールと脂肪族ジイソシアネートまたは脂環族ジイソシアネートからなる自己乳化型のアニオン性ポリウレタンを水に分散させたものである水性ポリウレタン分散液と導電粒子を混合して、乾燥することにより形成されている伸縮性配線。